

令和6年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立雪谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・グループでの調理実習を実施できたので、児童の調理への理解と意欲が高まった。
- ・6年生が立てた献立が実際の給食になって全校児童に提供され、児童の調理や栄養への理解と意欲が高まった
- ・調理手順や裁縫の基礎的・基本的な技能が身に付くように、ICTを活用し動画を見せることでどのようにすればよいか理解できる児童が増え、有効であった。

(2) 課題

- ・スクールタクトを用いて、調理の宿題を出す写真付きで実施報告ができていいが保護者のコメントの記入が不確かなものになってしまい実施の確認が取れにくい。

2 授業改善のポイント (観点別)

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・調理の手順や裁縫の基礎的・基本的な技能が身に付くように、ICTを活用したり、動画を見せたりして実際の動作を見せる。 (授業構成) ・ミシンの学習の時は、スクールサポーターの方に支援に入っただき、個別支援と安全管理を強化する。 (授業構成) ・知識や理解がさらに深まるよう、既習の事柄をもとにして考えることができるよう助言したり、グループで話し合ったりする授業展開にする。 (授業形態・授業形態) ・調理の基礎技能習得のために調理実習の機会を増やし、グループ編成や調理実習の内容を調理実習ごとに精選する。 (授業形態) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最後に学習感想を書くことで学習したことを自分の生活にどうしたら活かせるか考える。 (授業構成) ・自分の生活の課題を解決するにはどうしたら解決できるか考え、計画を立てて実践する学習を行う。 (授業構成・指導計画) ・友達との交流を踏まえ、自分の考えを練り直したり、修正したりする時間を確保する。 (指導計画・授業構成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭実践の課題を出す際には、保護者にコメントをもらうことで生活の営みに自らが参加することが家族の役に立ち、支えることができることを実感させることで意欲を高める。 (指導計画) ・活動に主体的に取り組むことができるように、計画の段階で全体の時間数と活動内容を明らかにし1時間あたりの見通しが持てるように活動内容を明確に設定する。 (指導計画・授業構成) ・製作する作品の製作計画を自分で立てることで、製作に見通しを持ち活動を主体的計画的に行えるようにする。 (指導計画・授業構成)

3 今年度の成果と課題

(1) 成果

- ・おおたの未来づくり科の一環でエコクッキングを取り入れた調理実習を行い、児童の食べ物を大切に
する心情やエコクッキングへの理解と意欲が高まった。
- ・6年生が立てた献立が実際の給食になって全校児童に提供され、児童の調理や栄養への理解と意欲が
高まった
- ・調理手順や裁縫の基礎的・基本的な技能が身に付くように、ICTを活用し動画を見せることで
どのようにすればよいか理解できる児童が増え、学習の定着に有効であった。
- ・題材の中で自分の生活の仕方をよりよくする期間の長い課題を設定し、学習内容を実践することで学
習への理解が深まった。

(2) 課題

- ・従来の調理実習に加えてエコクッキングを取り入れた調理実習を行うことで他の単元との授業時数
に偏りができてしまった。
- ・題材の中で自分の生活の仕方をよりよくする期間の長い課題を実践した後に成果を児童同士で発表
する機会を作ることができなかった。